



マイナスな気持ちを抱いたときに・・・

「目には青葉 山ほととぎす 初鯉」こんな俳句が浮かんでくるような、鮮やかな緑が美しい季節となりました。街には今年もつつじの花が美しく咲いています。新学期が始まり、ひと月が経ちました。生徒たちも最初は緊張した面持ちでしたが、今では新しい環境にも少しずつ慣れてきたのか、笑顔も多く見られ、明るく挨拶してくれる子どもたちが増えてきたように感じます。しかし、中には頑張りすぎて「疲れた」「もう無理」とマイナスな言葉を発し、暗い表情をしたお子様もいるかもしれません。そんな子どもたちにはどのように接したら良いのでしょうか。私も含めて大人でも前向きになれないときはあると思います。

ある教育の専門家は「人間には『意志や理性に関係なく、自然に湧き出る思い』（一次意識）と『自力で創る思い、思ってみる思い』（二次意識）の二つがある。」と言っています。人の心はパソコンのような機械と違って、簡単にリセットすることはできません。したがって、最初に抱いた一次意識は無理に消そうとせず、そのままにして新たに前向きな二次意識を自分でつくってみることが必要ということです。では、前向きな二次意識をつくる源は何か。それはやはり、夢や目標、すなわち“なりたい自分”をどう思い描くかということです。もし、お子様が前向きになれないような状態の時には、マイナスの気持ちを否定するのではなく、見方を変えるようなアドバイスをしてください。例えば、毎日の生活の中に小さな楽しみや喜びがあることを自覚させたり、1日や1週間の終わりに自分自身にご褒美をあげるなど・・・そして、お子様が少しでも“ありのままの自分”が出せる環境を創っていただければ幸いです。



“笑顔で挨拶”について考えました！



昨年度に引き続き4/2の職員会議で『笑顔で挨拶』という学校教育目標について、改めて教職員で考えました。全校生徒にも定着しているこの目標ですが、「ただ単に笑顔で挨拶できれば良い。」といった単純なものではなく、この目標が目指す生徒像には奥深いものがあります。われわれ教職員がこの目標をどう捉えているか、ご理解いただきたく、次のとおり紹介いたします。今後も授業はもちろん、行事等を含め、日常の教育活動を通して愚直に迫り続けたいと思います。ご家庭でも参考にさせていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

◎『笑顔で挨拶』という目標が目指す生徒像とは？

『ひとりになれる』に関するもの（自立、自律、主体性、精神的な安定性等）

- ・挨拶をする理由の大切さがわかる ・学校に来るのが楽しい
- ・主体性、前向き、自信をもった取り組みができる ・健康で安心安全な学校生活を送れる
- ・自ら発信する力 ・気持ちが安定している ・心身の健康
- ・学校生活の中で気づいたことを伝える ・困難や問題があっても乗り越えられる強さ

『ひとつになれる』に関するもの（共生、協働、コミュニケーション能力等）

- ・誰に対しても明るく、優しくできる ・周りの人を信頼できる ・新しい出会いを喜ぶ
- ・相手を受け入れ、尊重できる ・互いに認め合える、高め合える
- ・互いに助け合おうとする ・自分を表現することで、相手のことを引き出す

『二つの土台となるもの』

- ・自尊感情（自己肯定感）

子どもにとって充実した部活動とするために

5/2(木)に部活動保護者会を開催いたします。本校でも毎日の学校生活の中で部活動を楽しみにしている生徒は数多くいます。1年生も仮入部期間が終わり、本入部となりました。1年生にとってしばらくは、放課後2時間ほどの練習は、体力的にも厳しいと思いますので、体調の管理にご留意ください。今後も部活動基本方針に基づき、子どもたちが目標に向かって意欲的な活動ができるような指導を心がけて参ります。



しかし、その部活動も現在、教員の長時間勤務や深刻な少子化の進展に伴い、望ましい部活動を持続していくためには新たな制度の構築が求められています。そこで、国は部活動の指導等に意欲を有する地域人材等の協力を得て、段階的な地域移行を進めています。過日、保護者の皆様にも市教育委員会からの文書を配付させていただきましたが、本市においても、昨年度からモデル実証を積み重ねながら研究を行い、休日の部活動の地域連携・地域移行に向けた環境整備に取り組んでいます。(本校の陸上競技部もモデル実証の1つとなっており、今年の3/29の読売新聞にもその記事が掲載されました。)どのような形になっても部活動の教育的意義は大きく、技術面だけでなく大人になるための様々な資質・能力を体得することができるものと考えます。今後も保護者の皆様のご理解・ご協力、何卒、よろしくお願いいたします。

家庭訪問、ご協力ありがとうございました



4/22(月)から5日間、家庭訪問が行われました。保護者の皆様には、ご多用の中、ご協力いただき、心より感謝いたします。おかげさまで有意義な話し合いができたようです。家庭訪問の主な目的は、①緊急時に備え、担任が家の場所を確認すること、②ご家庭の教育方針や生徒の家庭での様子を把握すること、③地域の環境を知ること、の3つです。普段子どもたちが生活している家庭や地域を知ることが生徒理解においても大変重要です。今回、訪問によって得られた地域の情報等も全職員で共有するよう努めて参ります。ありがとうございました。

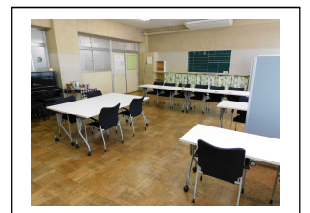
体育祭のブロック決まる！

今年度の体育祭については5月19日の日曜日に実施いたします。日曜日開催の理由としては、当初予定していた18日(土)に陸上競技部の全国につながる大会が開催されるためです。なお、19日が雨天で実施できないときは、翌々日の21日(火)となります。何卒、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。また、今年度も全学年の保護者の方(親族も含む)に当日参観していただく予定です。さらに、卒業生につきましても参観できるようにしたいと考えております。詳しくは過日配付した別紙プリントをご覧ください。ブロックが右の表のとおりに決定しました。当日、子どもたちの雄姿をご期待ください。

黄	36	22	13
青	31	23	12
橙	35	24	14
赤	34	26	15
桃	32	21	16
緑	33	25	11

『かめのさわルーム』の積極的な活用を

多様な学びの場が求められる現在、本校においても別室登校のための教室『かめのさわルーム』があります。今年度も朝8:30~14:00頃までを目安に校内支援センター支援員や学習指導員等を常時配置して対応しております。さまざまな理由で教室に入りづらい生徒が安心して登校し、学習できる場として積極的に活用できたらと考えております。定期的な入室には手続きが必要ですが、一時的な利用も可能です。『かめのさわルーム』の利用に関してお聞きになりたいことがありましたら、担任または教頭までお問い合わせください。



温かいメッセージをいただきました

3階の渡り廊下の掲示板にひときわカラフルなメッセージが貼られています。これは1年生の授業参観・懇談会が行われた日に学年職員が企画して保護者の皆様にご依頼したものです。「自分らしさを大切に楽しんでください!」「自分を信じて!」「にこってしてみたら、いいことあるかも!」「思いっきり、今を楽しんでね!」など愛情あふれる温かいメッセージばかりです。新入生だけではなく、目にする全ての生徒にとって励まされる内容です。ありがとうございました。

